



四国森林管理局

# 徳島森林管理署 とくしま通信

## とくしま林業アカデミーの学生に講義を実施！

徳島県が進める「新次元林業プロジェクト」の担い手対策として、今春「とくしま林業アカデミー」が開講され、現在23～41歳の男性11名の学生が学んでいます。徳島森林管理署では、国有林として積極的に担い手対策を支援していくとの方針の下、4月から徳島森林(もり)づくり推進機構との調整を重ね、7月8日、署会議室において、「森林・林業・木材産業を取り巻く状況」などをテーマに講義を行いました。学生からは、「エリートツリーとコンテナ苗の違いは？」や「シカクリップの効果は？」など、多くの質問が出ました。なお、徳島署では、今春県立那賀高校に設置された「森林クリエイト科」の生徒を対象に各学期に1回、3年間継続した出前講座を行うこととしています。



長期に聞き入る学生



講義の様子



シカ食害防止クリップ



とくしま林業アカデミーの学生と

## 8月11日は「山の日」です

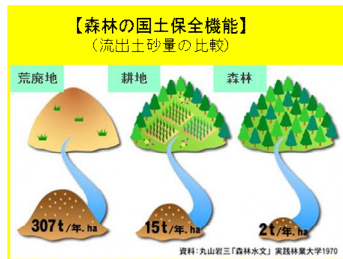
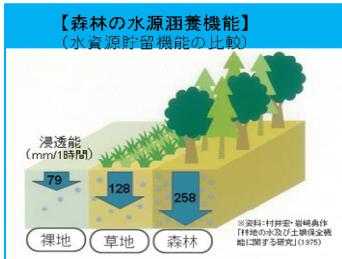
今年から、8月11日が「山の日」となります。山の日とは、山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日で、16番目の国民の祝日として新たに設けられました。森林の多くは中山間地域に分布し、山地災害防止、地球環境保全、木材の生産や水源のかん養など、様々な役割を発揮し、私たちの生活になくてはならないものです。このような森林の様々な機能を発揮させていくためには、山村地域で人々が生活し、日常的に森林の整備・管理が行われることが重要です。豊富な森林資源やそれらがもたらす良質な水、美しい景観など森の恵みを感じに森林(もり)に出かけてみませんか。きっと何か発見できるかも！！



剣山と次郎笈



手入れされた森林



## ツキノワグマの生息調査のためのカメラを設置

四国森林管理局、徳島森林管理署と認定特定非営利活動法人四国自然史科学研究センターでは、7月7日、蓋ヶ谷国有林内にツキノワグマの生息区域などを確認するためのセンサーカメラ3台を設置しました。

四国圏内に生息するツキノワグマは、その生息区域や生息数などが十分に解明されておらず、四国森林管理局・徳島森林管理署では、生態解明のための調査に平成26年度から取り組んでいます。これまでの調査で、本州に生息するツキノワグマと遺伝子的にも異なることや、行動範囲などについて、少しずつ解明されてきました。

今回の調査については、11月にカメラを回収し、ツキノワグマの生態について分析することとしています。



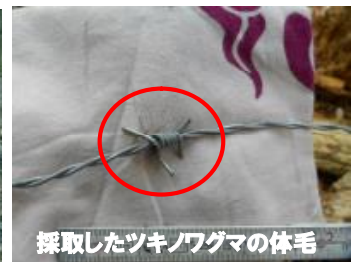
取り付けしたセンサーカメラ



取り付けの様子



ツキノワグマ



採取したツキノワグマの体毛

注：ツキノワグマ、体毛の写真は、過去の調査時のものです。



徳島署庁舎

四国森林管理局 徳島森林管理署  
 TEL:088-637-1230/FAX:088-666-1818  
 〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1



国民の森林・国有林